〔人様式例２２－４〕

　　 復職に対する意見書

１　職・氏名

教諭　 尾張あまね

２　病　　名

抑うつ状態

３ 意　　見（具体的に観察事項及び意見を記入する）

　(経過)

令和　７年　７月１７日　「自律神経失調症」で療養休暇９０日。

　　令和　７年１０月１５日　「抑うつ状態」で休職開始。

　　令和　７年１１月１４日　本人と面談　当初の様子に変化はさほど見られず。

　　　　　　　　　　　　　　人と会うと疲れる、とのこと。

|  |
| --- |
| …（中略） |

　　令和　８年　５月　８日　本人・主治医と面談　本人は復職プログラムを希望せず。

　　　　　　　　　　　　　　主治医からも治療継続のアドバイスを受ける。

　　令和　８年１０月１５日　休職２年目に更新。

令和　９年　３月２３日　主治医・本人と面談　精神的にも体力的にも自信が戻っている。復職プログラムを希望。５月中旬から復職プログラムを開始することで確認。

　　令和　９年　５月１７日　復職プログラムを開始

　(意見)

　　約２ケ月に渡る復職支援プログラムについて、欠勤・早退無しでプログラムを遂行できたことは、復職は十分可能であると判断する。これは本人にとっても大きな自信になっているようだ。今後は「執務内容は加重とならないようにする」などの配慮は必要であるが、復職意欲も強い点に期待し、職場復帰して欲しいと考える。

　　 　令和　９年　７月２３日

　　 　　　　　　　　　津島市立藤小学校長

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　○　○　○　○

（注）教育長と学校長の意見書は別々に作成すること。